

臨床研究に関する公開情報

2025年2月17日

疫学研究とは、病気にかかることの頻度や病気の多さを調べて、その原因を明らかにする研究です。私たちは過去のカルテより得られた情報を利用して、現在まで行われた病気の診断・治療の評価を行い、より良い診断・治療法を確立し患者さんに還元できるように、下記の疫学研究を行っています。

下記の疫学研究は、兵庫県立尼崎総合医療センター倫理委員会の承認を得た後、研究責任者の管轄のもとに行われます。当院にすでに記録されている臨床情報をもとに行われるため、対象となる患者さんに新たにご負担をおかけすることはありません。

また、この研究の結果は専門の学会や学術雑誌に発表されることがありますが、対象者のプライバシーは十分に尊重され、個人に関する情報(氏名など)が外部に公表されることは一切ありません。

もし、下記の疫学研究にご自身の臨床情報を使用されることに同意されない方は、下記連絡先にご連絡くだされば、解析対象から除外させていただきます。同意されない場合でも、診療上であなたが不利益を被ることは一切ありません。また下記研究に関して、ご不明な点がございましたら、いつでも下記連絡先にお問い合わせください。

<概要>

研究課題名	尿管ステントの有無が TUL 術後の転帰と医療コストに及ぼす影響の検討
対 象	2015 年 7 月から 2030 年 6 月までに兵庫県立尼崎総合医療センターにて尿路結石の診断を受け、経尿道的尿路結石破碎術（transurethral ureterolithotripsy:TUL）手術を受けた患者を対象とします。
研究期間	承認日から 2030 年 12 月 31 日までを予定しています。
利用又は提供を開始する予定日	承認日以降に情報の利用・提供を開始します。
方法	診療記録より TUL 手術に関する臨床情報、術後転帰、および医療費データを収集します。研究結果は学会および論文にて公表します。 【収集情報】臨床所見（年齢、性別、身長、体重、病歴に関する情報、糖尿病の有無、抗血小板薬・抗凝固薬の内服状況、ECOG パフォーマンスステータス）、血液所見（CBC、白血球分画、肝腎機能）、術前・術中情報（尿管ステントの有無（プレステントの有無）、過去の結石治療歴（ESWL, URS, ECIRS）、結石の位置とサイズ、最大サイズ、CT 値、麻酔の方法（全身麻酔または腰椎麻酔）、使用した尿管アクセスシース（UAS）の太さ）、術後転帰（術後入院期間、術後 38 度以上の発熱の有無、術後の疼痛訴え、術後予定外受診の有無、術後再入院の有無、術後緊急尿管ステント留置の有無）、医療コスト解析（TUL の入院から退院までにかかった医療費、TUL 入院前に行った全ての医療行為の医療コスト、TUL 予定手術から退院後に予定外受診した場合の医療コスト、予定外受診後に再入院となった場合の再入院費用（個室料金等は除外））。
個人情報	臨床情報は匿名化され、個人が特定できないようにして、必要な臨床データの

みを収集して解析を行います。そのため、本研究に協力していただく患者さんに不利益が生じることはないと考えています。しかし、そうであっても臨床情報を本研究のために使用されたくない方は、ご連絡いただければ解析対象から除外します。

問い合わせ先 兵庫県立尼崎総合医療センター 泌尿器科
〒660-8550 兵庫県尼崎市東難波町 2-17-77
TEL : 06-6480-7000 FAX : 06-6480-7001
研究責任者 : 泌尿器科 村蒔 基次